

粋を極めた京都の顔づくり

花見小路景観整備事業





「魅力ある質の高い道路修景」 花見小路通の完成にあたって

京都市長 **山崎 たくし**
ます もと より かね

輝かしい年のはじめに、豊かな自然に恵まれたここ鴨東の山紫水明の地、祇園地区において、花見小路通の電線類の地中化が完成し、石畳の道が再生致しました。

これもひとえに、地元の皆様をはじめ、多くの皆様の御協力の賜と心から感謝申し上げます。

花見小路通を中心とする祇園町南側地区は、古き良き祇園界隈の風情を色濃く残し、毎年多くの観光客を魅了して参りましたが、近年、新しい建物の建設が進み、地元の皆様を中心に町並みの保全が強く求められておりました。こうした中、本市では、祇園町全体として質の高い道路空間を形成し、調和のとれた都市景観の構築を図るため、当地区を「歴史的景観保全修景地区」に指定し、風情ある京都のまちづくりに取り組んでいくところであります。

この度完成した花見小路通は、単なる町並みの保全に留まらず、過去から脈々と受け継がれ洗練されてきた、京都を代表する「祇園情緒」を高め、真に京都らしいまちづくりの顔になるものと確信致しております。

今後とも、逼迫した財政状況ではありますが、市民の皆様との揺るぎないパートナーシップの下、21世紀への飛躍となる新しい都市づくりに邁進し、「安らぎ」と「華やぎ」に満ちた京都を実現するために全力を注いで参りますので、皆様方のより一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業概要

事業年度	平成11年度～平成13年度
事業費	約6億円
事業区間	市道 花見小路通 四条通～建仁寺 約330m
事業目的	景観阻害要因の解消 景観の質的向上 都市災害の防止 ライフラインの安全性の向上
事業内容	電線類の地中化 道路の石畳化 デザイン照明の設置 「歴史的景観保全修景地区に指定 祇園町南側地区景観協定を締結」



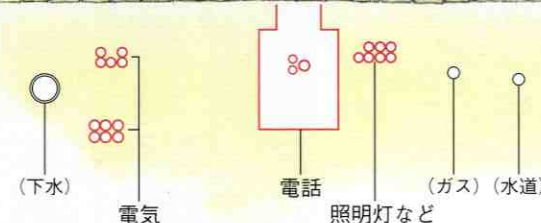
整備前

電線や電柱が洗練された花見小路の町並み
景観を疎外していました。



整備後

石畳の道として再生された花見小路通



断面模式図



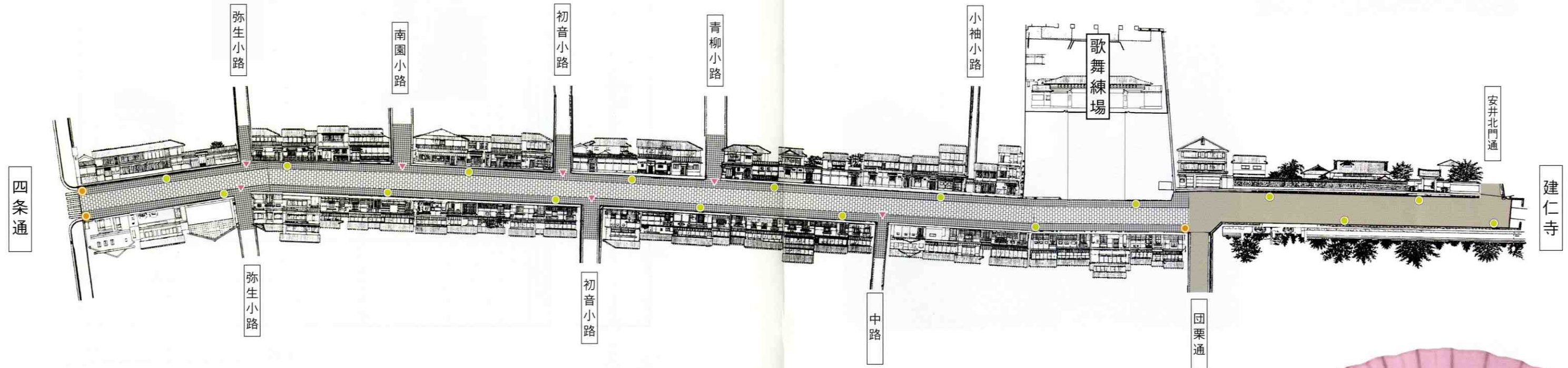
石畳により再生した花見小路



花見小路の洗練されたまちなみと調和した照明のデザイン



団栗通りから安井北門通りへと連なる道は自然色アスファルト舗装とし、周辺の景観と調和させた。



照明を兼ねたシンボルサイン



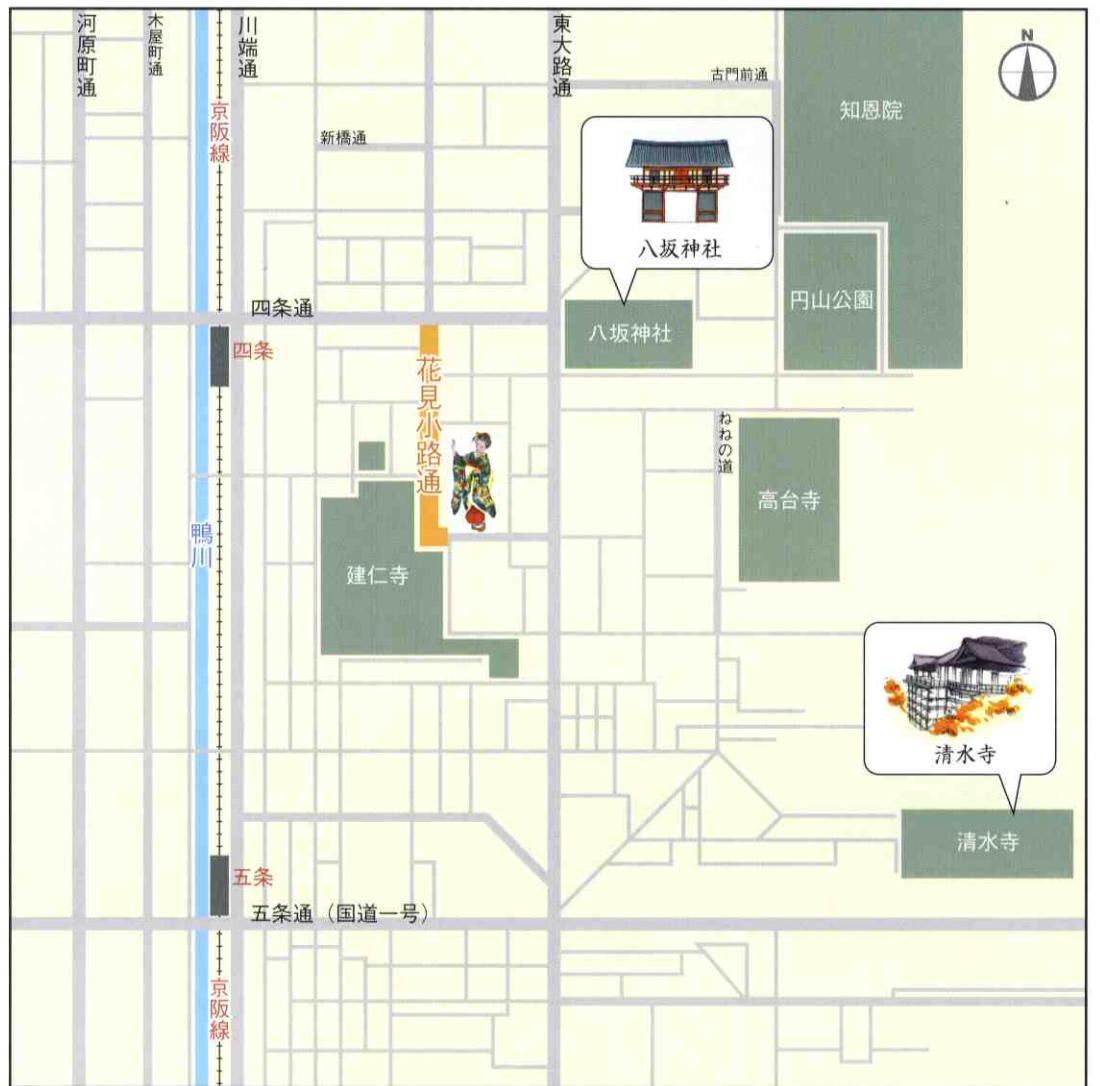
路面に埋め込んだ案内板。地域らしいデザインとした。



歩行者の安全性を確保する為、歩車道の舗装に用いる石の大きさを換え、歩車道のイメージ的な分離を図った。また、バリアフリーに配慮し、路面の凹凸を出来るだけ少なくし、目地を狭くすることで誰もが歩きやすい道とした。

凡 例	
●	シンボルサイン
●	デザイン照明
▼	路面サイン
■	石畳舗装
■	自然色アスファルト舗

位置図



1:13,000 0 250 500m